

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年07月07日

計画の名称	富山駅周辺地区における駅前広場等の歩行空間整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富山市												
計画の目標	鉄道との結節点となる富山駅周辺において、駅南北の一体化を支える都市計画道路の整備や、駅前広場等の歩行空間をバリアフリー化することで、交通結節機能の強化を図るとともに、歩行者の安全・安心を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	186	A	186	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H22末	H28末	H33末
1	富山駅周辺における平日の歩行者通行量を35,715人（H22）から、40,000人（H28）まで増加させ、その後も維持させる。 富山駅周辺地区（調査地点：6地点）における平日の歩行者通行量を集計する。	35715人	40000人	40000人
2	富山駅周辺における休日の歩行者通行量を27,791人（H22）から、32,000人（H28）まで増加させ、その後も維持させる。 富山駅周辺地区（調査地点：6地点）における休日の歩行者通行量を集計する。	27791人	32000人	32000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	富山市	直接	富山市	区画	改築	富山駅周辺地区((都)県 庁線外)	区画整理 10.4?	富山市						186		-
											小計						186		
											合計						186		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山市	令和2年7月
	公表の方法
	富山市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	富山駅付近連続立体交差事業（在来線の高架化）と調整を図りながら交通結節機能の強化と併せて駅前広場や都市計画道路の整備を進めたことで、バリアフリー化された賑わい創出空間と歩行空間が徐々に確保されてきている。富山駅南口駅前広場などの賑わい空間が創出されたことで、休日における歩行者数の目標値は達成したものの、土地区画整理事業としては、施行中であり、今後、在来線側の整備を行うことから、平日における目標値は下回ったものと考察される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	整備の進捗により、交通結節機能が一部強化されたことから、各交通機関の定期による利用者数が増加した。
特記事項（今後の方針等）	
今後も、富山駅付近連続立体交差事業と調整を図りながら、富山駅周辺地区の駅南北市街地の一体化を支える都市計画道路や駅前広場の整備を行い、交通結節機能の強化及び歩行空間のバリアフリー化を進め、歩行車の安全・安心の確保を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	40000人	土地区画整理事業全体の計画としては、整備途中であり、今後、在来線側の整備を行うことから、当初の目標を下回る結果となった。
	最終実績値	32265人	
2	最終目標値	32000人	整備の進捗により、南口駅前広場等のバリアフリー化された賑わい空間、歩行者空間が一部創出されたことによって、当初の目標を上回る結果となった。
	最終実績値	34947人	